

## 2 . 平成 2 0 年度 予算概算要求の基本方針

～ 日本をリードする中部地方を目指して～

### < 基本方針 >

#### ・安全で安心な中部を目指します。

社会経済活動の基盤となる安全で安心な地域を目指し、台風 4 号、5 号による水害・土砂災害、平成 1 9 年新潟県中越沖地震など、日本各地で頻発する災害に備え、壊滅的な被害が生じないように、社会資本整備等を推進します。

米ミネソタ州の高速道路の橋梁崩落事故や一般国道 2 3 号木曾川大橋においての車道面を支える鋼材が破断した事例が発生し、社会資本の安全性に対する信頼性が損なわれました。今後、橋梁を含めた様々な社会資本の老朽化が急速に進む中、適切に維持・管理、更新し安全性を維持します。

#### ・活力のある中部を目指します。

元気な中部を下支えしている社会資本、平成 2 0 年春には多くの高速道路が開通するなど広域的なネットワークが充実し、北陸や近畿との連携が広がるほか、リダンダンシーも確保されます。

さらなる中部の発展を目指すため、陸・海・空が一体となり、拠点整備及び交通網の構築を推進し、世界的に優れた国際物流ネットワークを形成します。

#### ・自然と共生する中部を目指します。

美しく豊かな自然環境を保全・再生・創出するほか、健全な水・物質循環を構築します。また、地球規模の環境問題へも対応します。

#### ・交流が活発で愛着の持てる中部を目指します。

元気の象徴である名古屋市や岐阜市、静岡市などの拠点都市の魅力の向上を図ります。

中山間地・半島部において災害時の孤立化の解消や地域力の向上などの効果が期待される地域を支える基幹道路の整備を推進します。

個性あるまちづくりや魅力ある景観の創出など地域の魅力の向上を図ります。

## < 将来ビジョンの策定 >

### **「中部圏広域地方計画」の策定**

中部圏広域地方計画は、地域の様々な課題に対する対応策を示し、国民が安心して生活しうる国土の将来像と豊かでゆとりある国民生活のあるべき姿を示す将来ビジョンで、10年間の国土づくりの指針です。関係機関が連携し平成20年中頃の策定を目途に検討を進めています。

### **次期「社会資本整備重点計画」の策定**

次期、社会資本整備重点計画は、平成20年度から5箇年の社会資本整備に関する計画で、平成20年夏頃の策定を目途に検討を進めています。

### **次期「まんなかビジョン」の策定**

次期、まんなかビジョンは、概ね10～20年後の中部地方の将来像、地域づくりの目標を示した計画で、関係機関が協働し平成20年春の策定を目途に検討を進めています。